

従業員向け

児童発達支援・放課後等デイサービス 評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援、及び放課後等デイサービス事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		適切にされています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		満たされています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		子ども達にも、分かりやすく全体を見回すことが出来ます。バリアフリーになっています。転倒のリスク改善がされています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		安全な保育環境を確保できています。年齢、場所、活動内容を留意し活動に合わせた空間になっています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		常に子供の状況、状態、動きが見守られる環境になっている。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		プログラムに沿って実施しています。適切に効果的に取り組めるように役割分担、活動の流れを明確に示し計画しています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	全職員の共通理解を深め、業務改善につなげています。家族のニーズを明確化し他の専門職と連携しています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		委員会を設け、その都度対応するようにしています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	実施していません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		個々に合わせたスキルアップができ、研修を受講ができています。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		1人1人の個別にファイリングされており、職員間でも情報共有ができるようになっています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	8		保護者からの聞き取りを行ったり、保護者に記入してもらった資料を基に作成しています。
	13 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		会議などで情報共有を行っています。
	14 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		苦手なことに挑戦できるようにプログラムに取り入れ支援しています。

適切な支援の提供

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		フォーマルアセスメントは実施されておらず インフォーマルアセスメントを用いて確認を行っています。
16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		支援計画に関しては、ガイドラインに沿って適切な支援が行えるように計画者だけでなく他の従業員とも話し合いを行って、必要な支援を受けられるようにしています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	立案に関しては、職員間で話し合いながら必要な内容やプログラムを取り入れるようにしています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		プログラムが固定化しないよう色々な職員が担当し、発案していくようにしています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	8		小集団で行うことがメインですが、その日の状況などに合わせて児童に対応していけるように支援行っています。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		支援前に話し合いを行う時間を設け、前回の利用時に気付いたことや家族様からの連絡事項を確認できるようにしています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		支援後は申し送りノートを活用し、振り返れるようにしています。必要に応じて時間を作り共有しています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		申し送りノートを使っており、休んでいる職員にも共有できるようにしています。支援内容の改善が必要な場合はその日の支援前に時間を設けて話し合いをするようにしています。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		月に一度モニタリングを行い、様々な視点から見直しを行っています。
24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	8		4つの基本活動を組み合わせた支援を行っています。地域のイベントごとに参加したり、季節に合わせた創作活動を行っています。
25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		年齢や発達に合った選択肢を提示し、自己決定を支えています。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		サービス担当者会議などには、日頃から子どもたちの支援に関わり状況を理解している者が参画しています。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて情報共有や連携を行える体制を整えています。
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5	今後は必要に応じて相談できる場を設け、支援の質の向上に繋げていきます。
29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	地域のイベントで他のこどもと交流を図ったり、児童館に行くと他の子どもたちと一緒に活動する機会を設けたりもしています。
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		毎日連絡帳（HUG）で1日の様子を細かく保護者に伝えていきます。また、何かこどもの様子で気になる点があった際にはすぐに送迎時や電話等で保護者と話をし、共通理解できるようにしています。
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7	事業所での様子や家庭での様子を情報共有し合い、対応の仕方について話し合うことは行っていますが、研修の機会等はないのであったらいいと思います。

関係機関や保護者との連携	32	【 児発事業所・児発センターのみ 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	担当者会議や送迎時等に行っています。
	33	【 児発事業所・児発センターのみ 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		学校へ連絡し、必要な項目の情報共有を行っています。
	34	【 児発センターのみ 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	35	【 児発センターのみ 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	36	【 児発センターのみ 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	37	【 放デイのみ 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	8		利用を開始するにあたっての必要事項について情報共有を行っています。また、学校とすぐに連絡を取り合えるよう連絡先の一覧表を作成して
保護者への説明等	38	【 放デイのみ 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	担当者会議や送迎時等に行っています。
	39	【 放デイのみ 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	6	まだいません。
	40	【 放デイのみ 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8		これから協議会等へ参加していきたいと思います。
	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明を行っています。
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		会議などを定期的に行っています。
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		説明を行い同意を得ています。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		送迎時や連絡帳、電話などで悩みや相談を聞いた際は職員間で共有し意見を出し合い必要な支援を行っています。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	これから保護者同士で交流機会等を設けていきたいです。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談や苦情があった際は職員間で共有し意見を出し合い対応しています。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		保護者に分かりやすいような活動の様子を伝えるようにし、特定の児童だけを目立たせないネガティブに受け取られる表現がないようにする
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		書類・記録に外部持ち出し禁止にし、子どもの個人情報を口外しないようにする

	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		子どもには分かりやすさを最優先にし、抽象的な言葉で伝えない。保護者へは思いを否定せず、曖昧な返答をせず安心につながる伝え方をするようにする
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	現在はそのような行事は行なっていませんが今後取り組んでいけるようにしていきます
	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		その都度保護者からの相談があった際に丁寧に対応していくようにしています
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各委員会でマニュアルを確認し、職員間で共有しています
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		策定し、避難訓練の年間計画を作成し、訓練を実行しています
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		家族への事前ヒアリングを行い、服薬・予防接種・発作歴を職員間で共有している。
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		おやつ提供時に確認できるよう、アレルギー内容を見える場所に掲示し、注意して対応している。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	安全管理や事故防止について職員間で共有し、安全意識を高めながら支援している。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	連絡帳や口頭で安全面に関する取り組みを家族へ伝えている。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットでの気づきを職員間で共有し、事故防止に活かしている。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止に関する研修を実施し、職員の意識向上に努めている。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		想定事例についての職員間の共通理解をさらに深める必要がある。